

【クリスマス特別賛美参加者募集】
 秋の深まりと共に、今年もクリスマスの備えをする季節を迎えて います。今年もリモート賛美という形でクリスマスの特別賛美を行います。事前に収録と編集を行い、イヴ礼拝、クリスマス礼拝で使 用します。

* 参加希望の申込先

【外部集会の】案内】

- ・有志ボランティアによる無料食品配布
- 10 / 1の第6回食品無料配布には、46組約60名が来会し喜んで食品などを受け取られました。今回は開始時間を1時間繰り上げたにもかかわらず、開始前に8名の方が待っていました。また、配布の為には教会関係に加えて地域から20名の方が寄付くださいました。今回は西蒲田1丁目の西蒲田商店街交友会の交流スペースにも収集箱を置かせていただき、地域との繋がりもさらに深まっています。お祈りとご支援をありがとうございます。

日程	10 / 18 (火)
会場	インマヌエル中目黒教会
・聖会Ⅰ	午後2時～
・聖会Ⅱ	午後4時～
・聖会Ⅲ	午後7時～
YouTube 配信	もあります。

No.28 2022・10・9

あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷺の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。
あなたがたは、わたしにとつて祭司の王国、聖なる国民となる。

出エジプト記 19 章 6 節

エジプトの奴隸生活から解放されたイスラエル人は、主から律法を授かります。

主の救いは、罪の苦しみからの解放に留まりません。神の救いにあずかった人が感謝の心に基づいて神の御心に沿った生活をし、神の民として整えられ成長することを主は望みます。そのために主は律法という形で神の民の生きる道を示しました。

律法はイスラエルという神の民の共同体に授けられました。十九章で「あなたがた」と呼びかけられている通りです。一方、二十

章では「あなたは」と個人への呼びかけのものに「十戒」が授けられます。神の律法に生きるのは、共同体・人ととの関わりの中で發揮されることです。それはまた、一人ひとりが自分のこととして受け止め自らの生活に落とし込んでいくことが必要です。

主は恩着せがましく強制したり、脅すようにして人を従わせようとはなさいません。

神の民一人ひとりが、神の恵みに対して応答することを求めておられます。

だから主は彼らに、まず主の救いの業を忘れないようにと呼びかけています（十九、二十2）。神への感謝が人の心にあってこそ、律法はその人を生かすということです。主はご自身を「ねたみの神」（二十5）と呼び、ご自分がいかに人間を愛しておられるかを示します。その神の愛に応える道が律法・十戒に生きるということです。（泰）

